自然栽培米プロジェクト「１年目の挑戦」

～地球環境に優しい米作り　安心・安全なお米の提供～

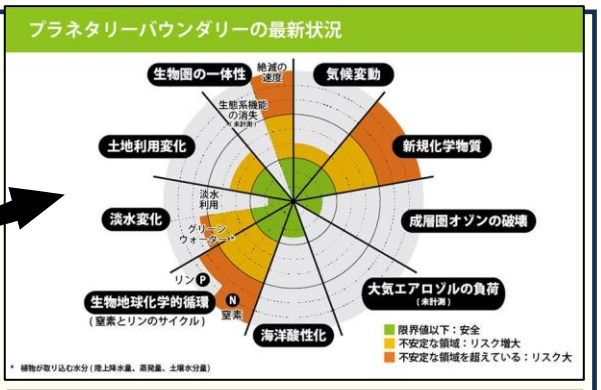
栽培期間中

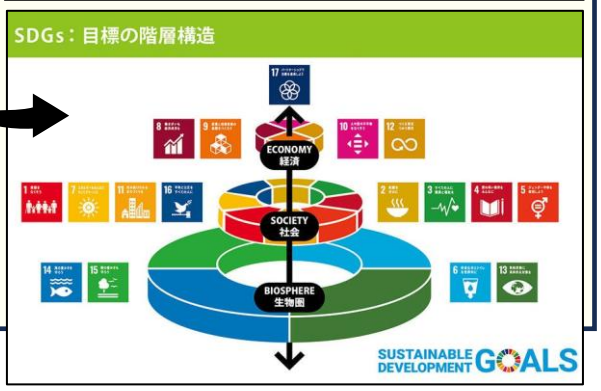
農薬・肥料を使わず
「新十津川町の自然の恵み」
だけでつくりました。



プロジェクトを実践するにいたった理由

1. 窒素やリンなどの化学肥料の過剰投入により、物質循環に負荷をかけ、生態系を崩壊させ地球の環境破壊を進ませていること。
2. これから、世界中の化学肥料の原料が枯渇することが予想されている。そのために、化学肥料に頼らない栽培方法が必要になること。
3. 社会・経済の目標を達成するためには、生物圏の目標達成が土台になることを「SDGsの階層構造」が示していること。
4. 2021年に農林水産省が策定した「みどりの食料システム戦略」では、2050年までに化学肥料30%・化学農薬50%使用低減を目指していること。





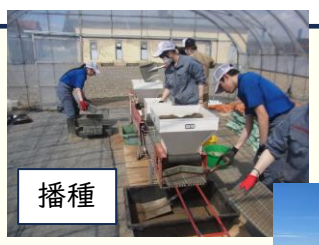
目　的

「私たちの未来のために、地球環境の再生を図りながら、豊かな食料生産と経済活動を可能にするため。」

1. 土壌生態系の保護と環境再生
2. 安全・安心な食料生産
3. 生産コストの削減
4. 枯渇する肥料資源からの脱却

実　践

4月20日	消毒・浸種	温湯消毒：65℃のお湯で15分間
4月30日	播　　種	播種用土は自然用土を使用
5月27日	田 植 え	条間33cm・株間15cm、面積60a
6・7月	除草・管理	除草機と除草ロボット（ミズニゴール）で合計6回の除草
9月10日	稲 刈 り	ミズカヤツリとミズアオイの雑草に阻まれながらの稲刈り


播種


田植え


ミスニゴールで除草


収穫直前


稲刈り

成　果

1. 10aあたり約100kgの収量（全道平均：549kg）
2. コストは慣行栽培の29%
3. 精米タンパクは6.8%で標準的な数値

課題と今後の取り組み

1. ミズニゴールの効果的な活用による雑草抑制
2. 乾土効果による微生物の活性化
3. 緑肥（ヘアリーベッチ）による土壌中の窒素量向上

→ **収量アップ**
食味向上